



前後町長に受章を報告した鈴木さん(右)

鈴木榮太郎さんに緑十字金章

町役場を訪れ、町長に受章の喜び報告

今年度の交通栄誉章緑十字金章を受けた猪苗代地区交通安全協会長の鈴木榮太郎さん(廻谷地)は1月22日、町役場を訪れ、前後公町長に受章を報告しました。鈴木さんは「皆さんの支えのおかげで、大変栄誉ある章を頂くことができた。これからも地域の安全のために尽力していきたい」と話しました。鈴木さんは、昭和58年に猪苗代地区交通安全協会に入会。平成23年に会長に就き、地域の交通安全活動に尽力しています。

子どもから大人まで熱戦展開

「スノードリーム2016」猪苗代綱引大会

「スノードリーム2016」猪苗代綱引大会は2月28日、カメリーナで開かれました。一般男子、一般男女混合とジュニアの3部門に町内外から合計18チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

主な成績は次のとおりです。【一般男子】①佐原つ子お助け隊②TOM'S③アクアクルー【一般男女混合】①若宮会②ちびたんパワーズ③チームドリーム【ジュニア】①ちびたんスピリッツ1②湯川男子ソフトスポ少③猪苗代ソフト部C



競技に挑む猪苗代スポ少ソフトボール部の部員たち



報告に訪れた菅井教諭(右から2人目)と渡部校長(右)

体育指導などの功績たたえる

緑小の菅井明人教諭に県教委「優秀教職員表彰」

県教育委員会の本年度教育・文化関係表彰で「優秀教職員表彰」を受けた緑小の菅井明人教諭は2月15日、渡部祐司校長と共に町役場を訪れ、前後公町長らに受賞を報告しました。この表彰は、菅井教諭がこれまでの勤務校で体育の授業や課外活動に熱心に取り組む、陸上やクロスカントリースキーなどで素晴らしい成績を残していることなどが認められたものです。菅井教諭は「皆さんの支えのおかげ。大変光栄です」と感謝を述べました。



雪に埋まった人の救助訓練に取り組む参加者

冬山遭難の救助技術を学ぶ

猪苗代地区山岳遭難対策協議会が救助訓練

町山岳会、警察署や消防署などで組織する猪苗代地区山岳遭難対策協議会は1月29日、裏磐梯スキー場などで冬山遭難救助訓練を実施し、万一の事故に備えました。訓練には、同協議会の会員26人が参加。雪崩に巻き込まれた人の捜索、救助訓練やスノーシューを履いての歩行訓練などに取り組みました。参加者らは、救助技術や知識の向上のため、真剣な表情で訓練に取り組み、冬山の遭難事故防止に向けて決意を新たにしました。



写真上__東北フラワージェットのイメージ図。中央下の丸囲みが亀ヶ城公園のサギソウ、左下が長照寺のハス
写真左__前後町長(左)に額入りのイメージ図を手渡す野口さん(中央)。右は箭内さん

猪苗代の花が大空へ

東北フラワージェットが5月に就航

本町出身の写真家、野口勝宏さんが撮影した花の写真をあしらった全日空の特別機「東北フラワージェット」が5月14日、伊丹―福島空港間で就航することが決まりました。

A N Aグループが取り組む復興支援活動の一環で、機体には東北6県に咲く17種類の花々があしらわれています。このうち猪苗代の花が2種類使われており、町の花「サギソウ」と長照寺(三城瀧)の「ハス」が機体を彩ります。

野口さんとA N Aエアサービス福島空港サービス部の箭内聡部長は2月10日、町役場を訪れ、前後公町長に特別機の就航を報告。野口さんは「きれいな花を探しに、少しでも多くの人に猪苗代へ足を運んでほしい」と話し、前後町長にイメージ図を贈呈しました。前後町長は「町の活性化や観光客の誘客につなげたい」と感謝を述べました。

寄贈された東北フラワージェットのイメージ図は、町役場1階の町民ホールに展示してありますので、来庁の際にはぜひご覧ください。

交通死亡事故ゼロ500日達成

本町に会津地方交通対策協議会長表彰

本町は2月10日で交通死亡事故ゼロ500日を達成し、会津地方交通対策協議会長表彰を受けました。表彰の授与式は同日、町役場で行われ、同協議会長の鏡敬文県会津地方振興局長が、町交通対策協議会長の前後公町長に表彰状を手渡しました。授与式では、峯岸正行猪苗代警察署長らが祝辞を述べ、前後町長が「交通死亡事故ゼロを長く継続できるよう、町民一丸となって交通安全に取り組んでいきたい」と謝辞を述べました。



鏡局長から表彰状を受ける前後町長(右)

鳥獣被害軽減の功績が認められる

町が自治体初の農水省農村振興局長賞を受賞

鳥獣被害対策優良活動表彰式は2月12日、東京都日比谷図書館で行われ、町が自治体では初となる農林水産省農村振興局長賞を受賞しました。この表彰は、鳥獣被害防止に取り組み、地域への貢献が顕著であると認められる個人や団体を表彰するもので、今回の受賞は、町が平成22年度から鳥獣被害対策に嘱託員を配置し、地域住民と協力して被害対策に取り組み、鳥獣被害の軽減につながったことが高く評価されたものです。



表彰式に出席した大川原久夫副町長(左から2人目)ら



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

「やさしくて、マナーを守れるしっかりした人になってほしいですね」。パパとママは、凧太郎くんをやさしく見つめながら、そう話します。

中野 凧太郎くん

平成 26 年 12 月生まれ
～道下
晃士郎さん・楓さん夫婦の長男

最近、名前を呼ぶと「はい」と手を挙げてくれるようになったという凧太郎くん。大好きなお姉ちゃんの後をいつもついて回り、人形を乗せたベビーカーを押したり、一緒にままごとをしたりして遊んでいます。

3 歳年上のお姉ちゃん、愛徠ちゃんも凧太郎くんのことが大好きで、ごはんをあげたり、歯磨きしてあげたりと、よく面倒を見てくれるのだとか。

ほぼ毎週、2 人を連れてスキー場に行くというママの楓さんは「今は凧太郎を抱っこして滑りますが、来年はデビューさせたい」とにっこり。

パパの晃士郎さんは「大きくなったら、できれば野球をやってほしい。スポーツを通して、礼儀や上下関係を学んでほしいですね」と凧太郎くんをやさしく見つめました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62) 2111

スクールトピックス



猪苗代の雪で雪遊びを楽しむ百名小の児童。沖縄ではめったに見ることのない雪にみんな大はしゃぎ



百名小の児童に雪だるまと赤べこなどを贈った古川さん(右から2人目)と小川さん(右)

雪だるま親善大使が沖縄を訪問

百名小のみんなが雪を見た時、とてもはしゃいでいたのでびっくりしました。

給食の時間に、百名小のみんなといろいろ話せて楽しかったです。



雪だるま親善大使を務めた、小川さん(左)と古川さん

本県と沖縄県との交流の懸け橋を担う「雪だるま親善大使」に選ばれた、猪苗代小の小川信さん(6 年)と古川菜月さん(同)が2 月4 日から6 日にかけて、沖縄県を訪問しました。

5 日には、南城市の百名小を訪れ、猪苗代の雪で作った雪だるまや猪苗代小児童のメッセージを贈るなどして交流を深めました。

この事業は、2002 年から実施している本県と沖縄県の交流事業の一環で、ことし1 月には百名小の児童2 人が「さとうきび親善大使」として猪苗代小を訪れています。



親子連れなどが収穫の喜び味わう

「猪苗代キャベツ研究会」の雪下キャベツ収穫体験



子どもたちのうれしそうな顔に、メンバーの顔もほころぶ

町内の親子連れなど約 20 人は1 月 30 日、夷田地区の畑で雪下キャベツの収穫を体験しました。ＪＡあいづ(現ＪＡあいづよつば)青年連盟猪苗代地区の有志でつくる「猪苗代キャベツ研究会」が主催し、同会のメンバー、深谷知広さんの畑で実施。参加した子どもたちは、メンバーや保護者に手伝ってもらいながら、一生懸命雪の下からキャベツを掘り出していました。同日は、同会が主催する農業体験ツアーの参加者も収穫を体験しました。

英語指導力向上の功績たたえる

東中の渡部真喜子教諭に県教委「優秀教職員表彰」

本年度の文部科学大臣優秀教職員表彰を受けた東中学校の渡部真喜子教諭は1 月 29 日、前後公町長らに受賞を報告しました。この表彰は、渡部教諭が平成 24 年度から 26 年度まで「英語指導力向上事業」拠点校の担当者として、授業公開などを通して県内の教員に還元し、同事業の推進に寄与した功績などが認められたものです。渡部教諭は「町のおかげで教員としても成長できた。今後も英語教育の充実に尽力していきたい」と話しました。



前後町長(左)らに受賞を報告した渡部教諭(中央)

雪上で練り広げられる熱い戦い

磐梯南ヶ丘牧場で雪上MTBレース



自転車に乗ったり、押したり、思い思いにコースを疾走

マウンテンバイクの雪上耐久レース「冬のジン」は2 月 14 日、磐梯南ヶ丘牧場で開かれ、選手たちが雪上で熱いレースを練り広げました。男子A、男子B、レディース、ジュニア、ガールズの5 部門に合わせて約 50 人が参加し、1 時間の周回数を競いました。当日は気温が高く、参加者はゆるんだ雪に大苦戦。雪解けで地面が露出している場所もあり、選手たちが泥だらけになりながらも時折白い歯を見せ、楽しそうにコースを駆け抜けました。

万が一の事態に備えるため

町職員らが普通救命講習を受講

町は昨年 12 月からことし 1 月にかけて、町役場で普通救命講習を実施しました。職員、嘱託員など約 240 人が6 回に分けて受講し、心肺蘇生法のやり方、A E D の使い方などについて理解を深めました。受講した職員らは、万が一の事態に備えようと、講師の話に真剣に耳を傾け、実技講習に熱心に取り組んでいました。町では、消防本部の応急手当推進事業所として職員の救命技能を維持するため、定期的に普通救命講習を実施しています。



真剣に講習を受ける町職員ら